共生舎
教室だより

2020年８月５日号
発行人　髙橋　慎吾

新北海道スタイル

当教室も実践しております。宜しくお願い致します。

「楽しく質問しやすい環境」

７月下旬、小５から高３の塾生18名を対象に、この教室についてのアンケートを実施しましたので、結果の概要をお知らせします。

【五段階評価平均】

①楽しく利用できているか	4.8
②質問しやすい環境か	4.7
③自分で学習をコントロールしやすいか	4.2
④発言しやすい環境か	4.7
⑤集中しやすい環境か	4.1

【自由記述】

アクティビティが楽しい。相談しながらの学習がやりやすい。

【分析】

塾生さんにとっては、ある程度の裁量が任されている環境で楽しみながら学習ができる場になっていると考えられます。他方、夜間の塾生さんについては、同じ時間に出席する塾生さんが増えており、集中しやすさに若干課題が残るところです。

【夜間コースの塾生さんへ】

特に月曜・金曜は、満席になることが多くなってきました。大学受験生、高校受験生もいれば、小学生の塾生もいて、色々な状況下にある塾生さんたちが同じ時間を過ごすことになります。みなさんが快適に過ごせる学習空間づくりには、みなさんの協力も欠かすことができません。

時間のメリハリをつけること、今自分は何をすべきかを考えることなど、みなさんにもできることがあります。あらためてご協力のほどよろしくお願いします！

「ではどうするか？」の思考

最近、塾長は「**アドラー心理学**」の本を読んでいます。近年指導者だけではなく、指導を受ける側の人達にも、話題になってきていますが、皆さんは聞いたことがありますか？

大まかに言うと、自分の人生を自らの力で切り拓くという考え方です。つまり、誰かの意思ばかりで自分の人生を左右されることはないということです。

この考え方では、たとえば何かうまくいかないことがあると、そもそも**【①どんな目的があって、②どうすればその目的に近づけるのか、③そのために何ができるか】に目を向けるとよい**とされます。

うまくいかないことを、つい、何かのせいにしたり、失敗の原因にとらわれてしまうこともあるでしょう。そして、そこにとらわれ続けてしまい、結局何をするにも気が重くなってしまうことにつながることもあるでしょう。

たとえば、テストの成績が悪かったら、普通は「もっと勉強しておけばよかったのに」「やればできたはずなのに」と、後ろ向きな考えに支配され、そしてそれが原因で遊びの時間を削られたり、ゲームやスマホの没収…となったりしますよね。

でも、仮に勉強に目的がないにしても「将来の自分が知識不足で、うまく人に理解してもらえないのを避けたい」などと考え、そのために「知識を補う」と目的を設定すると、どうやって知識を効率よく補うか、という考えに絞られる気がしませんか？

こうした「原因」ばかりに目を向けるのではなく、**「目的」に目を向けること**が、早い話が、やる気に繋がることになります。ということは、**我々大人も、結果論ばかりで話を片付けず、目的と手段の検証のお手伝いを意識するとよいのかもと思います。**

壁にしっくいを塗っています

トイレや流しの周辺の壁は経年による落ちない汚れなどがあり、美観を整えなければと思っていました。

コストの観点もあり、教室内の改修は、なるべく塾長が自ら行うようにしています。というわけで、しっくり塗りに挑戦しています。

時間の空いたときにしかできないので、塗りおわるまで、ご不便をおかけし申し訳ありませんが、なるべく壁には触らないなど、ご協力よろしくお願いいたします。

また、トイレットペーパーホルダーやタオル掛けなども、このデザインに合うものに付け替える予定でいます。さあ、どのように化けるでしょうか？乞うご期待（？）。

編集後記

今年も暑い季節の到来。８月だというのに熱帯にいるような蒸し暑さを感じる日もあるように思います。依然としてマスクはマナーとなる世の中ですが、マスクの下の肌荒れや、通気性の悪さによる熱中症などには、気をつけたいものです。厚生労働省も、人のいない場所では、熱中症予防のため、マスクを外しましょうとのことでした。

８月の日程表を更新したので、順次塾生さんにお渡ししておりますが、まだ受け取っていないという方はお知らせください。なお、当教室は夏季講習を行いませんが、相談ごとに乗って欲しい、個別指導をお願いしたいなどありましたら、遠慮なくお知らせ下さい。日程調整させていただきます。

※お盆も休まず営業いたしますのでよろしくお願いします！